

2010 年度問題演習

財産権の制限に関する 及び の最高裁判所の判決に関する次の各記述について、正しいものには 、誤っているものには×を付しなさい。

共有森林分割制限を定める森林法の規定を違憲であると判断した判決（最高裁判所昭和62年4月22日大法廷判決、民集41巻3号408頁）

上場会社等の役員又は主要株主による当該会社の株式等に係る短期売買利益返還義務を定める証券取引法(現行金融商品取引法)の規定を合憲であると判断した判決(最高裁判所平成14年2月13日大法廷判決、民集56巻2号331頁)

問1 及び の判決は、財産権に対して加えられる規制が憲法第29条第2項に適合するものであるかどうかは、規制の目的、必要性、内容、その規制によって制限される財産権の種類、性質及び制限の程度等を比較衡量して判断すべきであるとする点で共通する。

問2 の判決は、財産権に対する規制には積極的目的によるものと消極的目的によるものがあることを明示した上、積極的目的による規制の合憲性をより緩やかに認める考え方を明確にしたものである点で、 の判決と異なる。

問3 及び の判決は、いずれも、財産権に規制を加える立法について規制目的の正当性は認めている。その上で、規制手段の必要性及び合理性に関して、 の判決はこれが認められないと判断したのに対し、 の判決はこれが認められると判断したものである。

----- キリトリ -----

演習	学籍番号		解答	問1	問2	問3
	氏名					